



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

始



420-66



齋藤香村著

能面大鑑 上卷

株式會社
能樂書院藏版

大正
9.11.10
内交

能面大鑑 上卷 目次

尉の類

- 翁 金剛右京氏藏(卷首)
- 肉色翁 觀世元滋氏藏(一)
- 黑色翁 大西亮太郎氏藏(二)
- 父尉 大西亮太郎氏藏(三)
- 小牛尉 觀世元滋氏藏(二)
- 小尉 金剛謹之助氏藏(三)
- 笑尉 觀世元滋氏藏(三)
- 朝倉尉 觀世喜之氏藏(四)
- 三光尉 金剛謹之助氏藏(四)
- 右衛門尉 池田侯爵家藏(五)
- 木賊尉 前田侯爵家藏(五)
- 阿古父尉 大西亮太郎氏藏(六)
- 冠尉 大西亮太郎氏藏(六)
- 髯阿古父尉 前田侯爵家藏(七)
- 千年小尉 池田侯爵家藏(七)
- 靈尉 寶生重英氏藏(八)
- 髯小尉 大橋新太郎氏藏(八)
- 皺尉 梅若万三郎氏藏(九)
- 無髯尉 金剛右京氏藏(九)

男の類

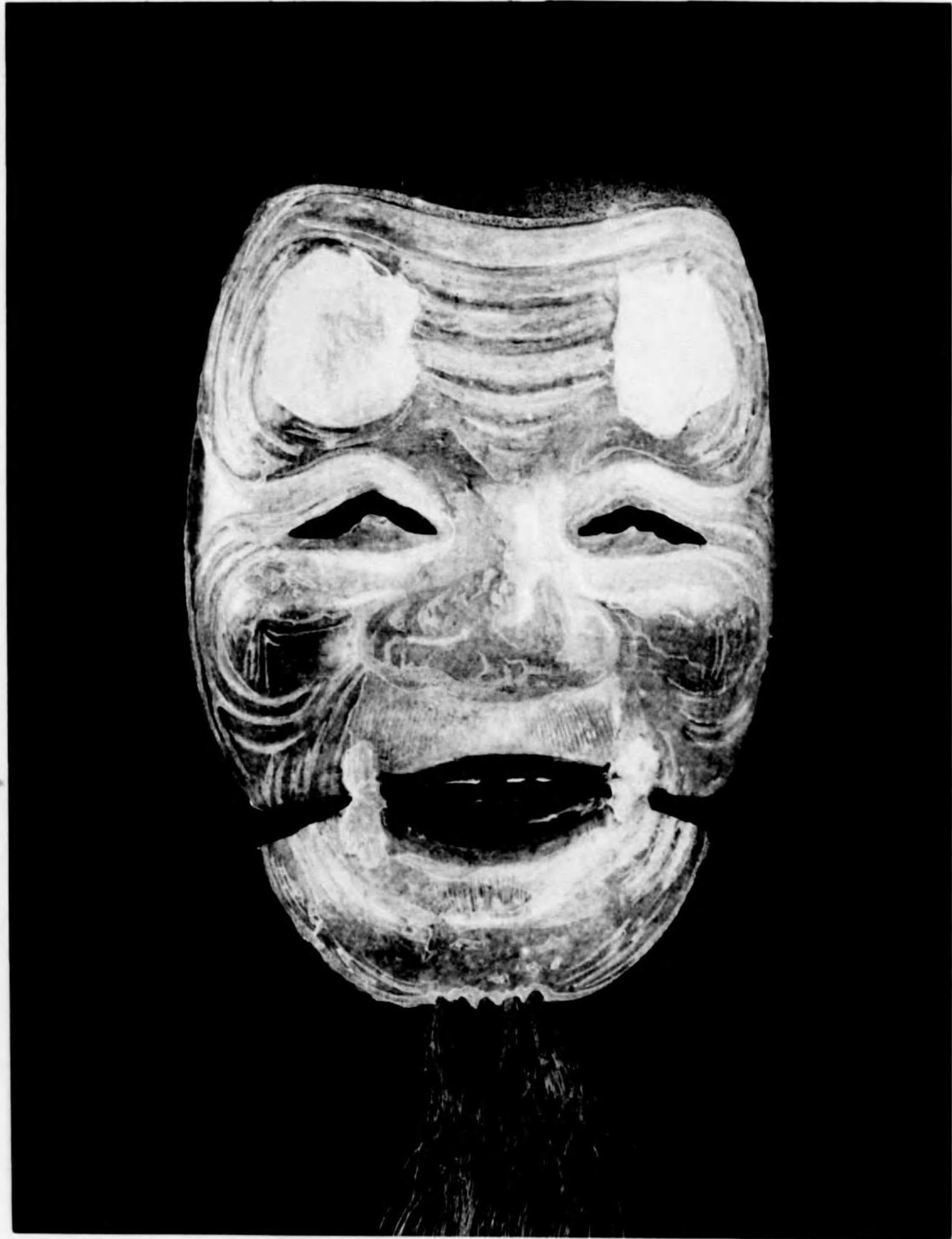
- 石王尉 大橋新太郎氏藏(三)
- 腰卷尉 觀世元滋氏藏(三)
- 舞尉 寶生重英氏藏(三)
- 舞小尉 寶生重英氏藏(三)
- 邯鄲男 三井得右衛門氏藏(三)
- 住吉男 大西亮太郎氏藏(三)
- 中將 津輕伯爵家藏(三)
- 鼻曲中將 金剛右京氏藏(三)
- 若男 前田侯爵家藏(四)
- 今若 梅若万三郎氏藏(四)
- 源氏 伊井伯爵家藏(五)
- 業平 橋岡久太郎氏藏(五)
- 十平 三井得右衛門氏藏(六)
- 十六 寶生重英氏藏(六)
- 十盛 觀世元滋氏藏(七)
- 大童子 帝室博物館藏(七)
- 大噶食 金剛右京氏藏(八)
- 大噶食 大西亮太郎氏藏(八)
- 中噶食 大西亮太郎氏藏(九)



○小 喝 食……………大西亮太郎氏藏(元)
 ○銀杏型喝食……………三井集會所藏(三)
 ○童 子……………大西亮太郎氏藏(三)
 ○酒吞童子……………齋藤芳之助氏藏(三)
 ○大 童 子……………池田侯爵家藏(三)
 ○冠形童子……………池田侯爵家藏(三)
 ○十六童子……………池田侯爵家藏(三)
 ○慈 童 子……………橋岡久太郎氏藏(三)
 ○舌出慈童……………橋岡久太郎氏藏(三)
 ○弱 法 師……………觀世元 滋氏藏(三)
 ○蟬 丸……………金剛謹之助氏藏(三)
 ○延命冠者……………金剛謹之助氏藏(三)
 ○平 太……………梅若六 郎氏藏(三)
 ○卯花平太……………大西亮太郎氏藏(三)
 ○準 男……………池田侯爵家藏(三)
 ○阿 波 男……………觀世元 滋氏藏(三)
 ○太 閣……………金剛謹之助氏藏(三)
 ○狸 々……………金剛謹之助氏藏(三)
 ○舌出狸々……………寶生重 英氏藏(三)
 ○薩摩形狸々……………大西亮太郎氏藏(三)
 ○頼 政……………金剛謹之助氏藏(三)
 ○源 三 位……………大橋新太郎氏藏(元)
 ○入 道……………大西亮太郎氏藏(元)
 ○俊 寛……………觀世元 滋氏藏(三)

癡見の類

○俊 寛……………寶生重 英氏藏(三)
 ○俊 寛……………金剛謹之助氏藏(三)
 ○俊 寛……………梅若万三 郎氏藏(三)
 ○景 清……………觀世元 滋氏藏(三)
 ○景 清……………寶生重 英氏藏(三)
 ○景 清……………金剛右 京氏藏(三)
 ○景 清……………喜多六平 太氏藏(三)
 ○牙 癡 見……………金剛右 京氏藏(三)
 ○魔 王……………大西亮太郎氏藏(三)
 ○大 癡 見……………梅若六 郎氏藏(三)
 ○猿 癡 見……………寶生重 英氏藏(三)
 ○型變り大癡見……………三井得右衛門氏藏(三)
 ○白 癡 見……………大西亮太郎氏藏(三)
 ○中 癡 見……………大西亮太郎氏藏(三)
 ○小形白癡見……………帝室博物館藏(三)
 ○小 癡 見……………細川侯爵家藏(三)
 ○熊 坂……………梅若万三 郎氏藏(三)
 ○長 靈 癡 見……………金剛右 京氏藏(三)
 ○六 十 三……………大西亮太郎氏藏(三)
 ○黑 癡 見……………觀世鐵之丞氏藏(三)
 ○髯 癡 見……………寶生重 英氏藏(三)
 ○髯 癡 見……………梅若万三 郎氏藏(三)



翁

春日作
金剛右京氏藏

【類別】 翁の類なれども、小厨以下のものとは趣を異にす。父
厨墨式などと共に翁の一種を成すものなり。

【用途】 五流とも翁に限り用ふ。

【類別】一般の翁と型に於て大差なし。されど顔面體の彩色が透影の肉色を帯ふ。故に此稱あり。他に類なし。

【用途】翁に限る用。

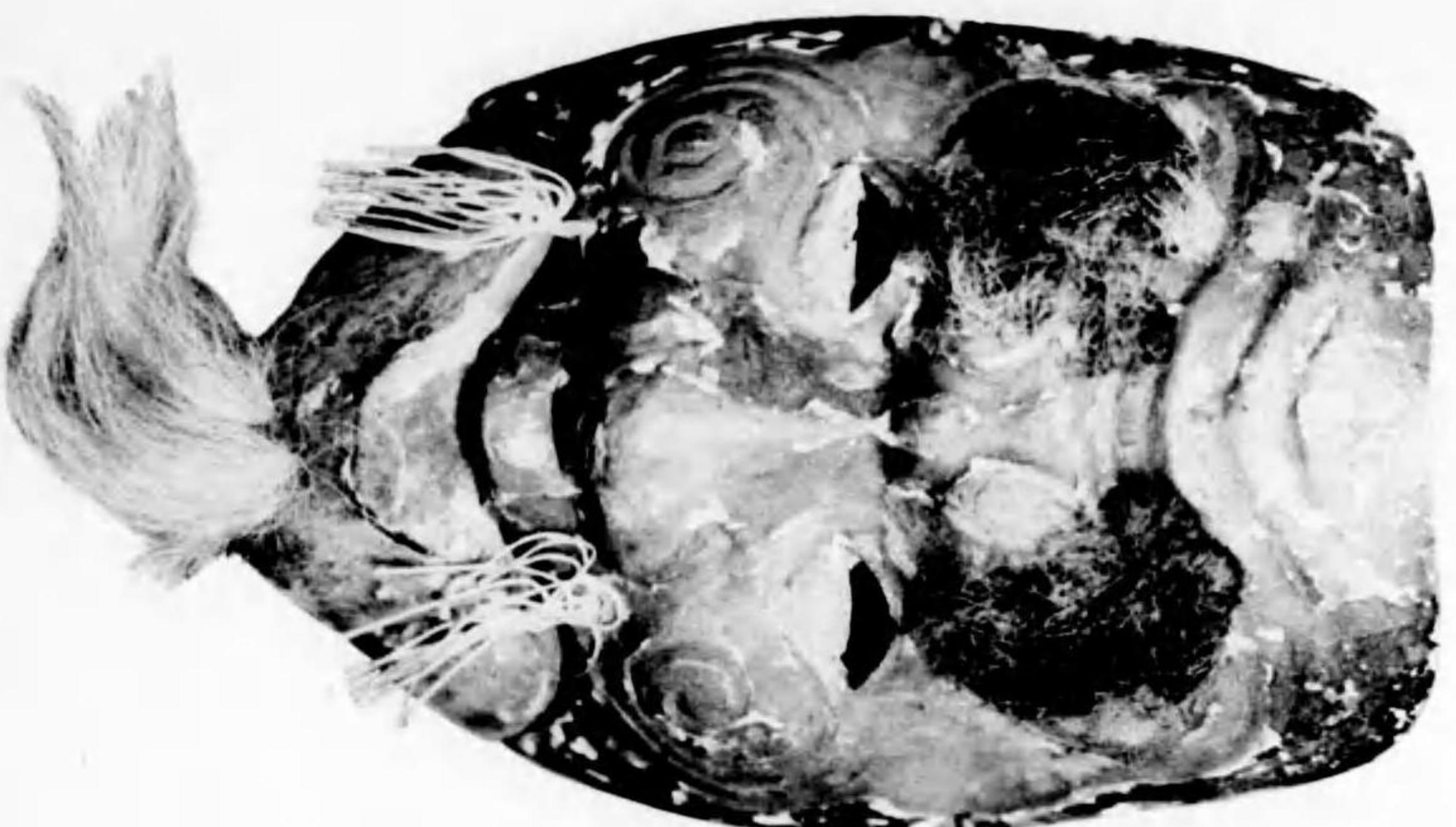
肉式翁

河内作
觀世元滋氏藏

黒式翁
名三番叟
淡海公作
大西亮太郎氏藏

【類別】三番叟は狂言用なれば狂言面として取扱ふ可なれど常に翁と併用せられ、型も亦翁と同型に出づるものなるを以て、爰に翁と併載す。

【用途】三番叟に限る用。



【類別】小尉と同面なり小牛作の小尉なるを以て此名稱あり
 【用途】觀世流は此面を用ゐ用途は他流の小尉と大異なる
 也。

小 牛 尉
小 牛 作
 觀 世 元 滋 氏 藏



【類別】尉類の中尉の一種なり
 【用途】審に限り用ゐ審の審には審を用ゐれども、又尉經命冠者の式には、シテ即ち審が此面を用ゐるなり、其時は、審は基面なる下座が、延命冠者を用ゐ、又勅進進などの如く、教目問答の時時には、四目以後に此面を用ゐる事もあり

父 尉
父 光 作
 大 西 亮 太 郎 氏 藏



【類別】眉類中の典例とも稱すべきものにして、顔面に品位あり、多稱ある尉は、多く此面に原形をとりて變化せしめたるものとの説あり

【用途】五流共に用ゝ、但し觀世は小生尉と稱す、皆物中品位を尊ぶ曲には多く此面を用ふるを以て、用途甚廣し

高砂、養毛、弓八幡、放生川、寝巻、大袈、水室、雨月、白梅、源太夫、難波、松尾、春日世神、東方朔、金札、張良、等の前シテ

【特例】金剛流は小生尉白頭の前シテ用ひ、喜多流は昭君前シテ用ふ

小尉
小生作 金剛流之助氏藏



【類別】尉の類にして其用途は三流尉と大差なし

【用途】金剛、喜多の兩流は此面を用ひず、觀世、養生、金森の三流に限る用ゝ。此面は尉物中におりても、田代野人物御等の八島、兼平、嵯、阿漣、忠度、通隆、野守、絳上、阿漣、鶴劍等の前シテ及び有生島、志賀等脇能物中前シテの下廉物にも用ふ

突尉
河内作 觀世元遠氏藏



【類別】朝倉尉、美尉などと同類
 【用途】觀世流は之を用ひず。寶生、金春、金剛、喜多の四流は之を用ふ。金剛、喜多の兩流は美尉を用ひざるを以て他の三流の美尉を用ひるものに此面を充つ。
 嵯、善知鳥、賴政、須摩源氏、飛雲、國橋、大蛇、忠度、延清、松山天狗、愛宕空也、等の流より其他。

三光尉
金剛氏但作 金剛流之助氏藏



【類別】三光尉、美尉などと同類なり
 【用途】五流共に用上
 實慶、女郎花、小磯、飛雲、三光、世虎、嵯、八島、兼平、國橋、蓮行柳、等の流より其他。

朝倉尉
觀世喜之氏藏



右衛門尉

池田侯爵家藏
正岡作

【類別】小尉の種類にて天尉を加味せるものなり

【用途】金春連の面にして他の四連は用ひず

高砂、老松、東方朔、水室、竹生島、等の面々にて用ふ

木賊尉

大和作
前田侯爵家藏

【類別】小尉の一種にて三虎尉の趣を加へたるものなり

【用途】寶生連特有の面にて、他連は用ひず、主として木賊に

用ふ

其他白樂天、放生川、東方朔、養老、寢覺、善知鳥、九世百、

遊行師、志賀、伏見等の面々にも用ふ

【傳説】寶生連の遠祖が木賊を演ずるに方り、特に其好みに

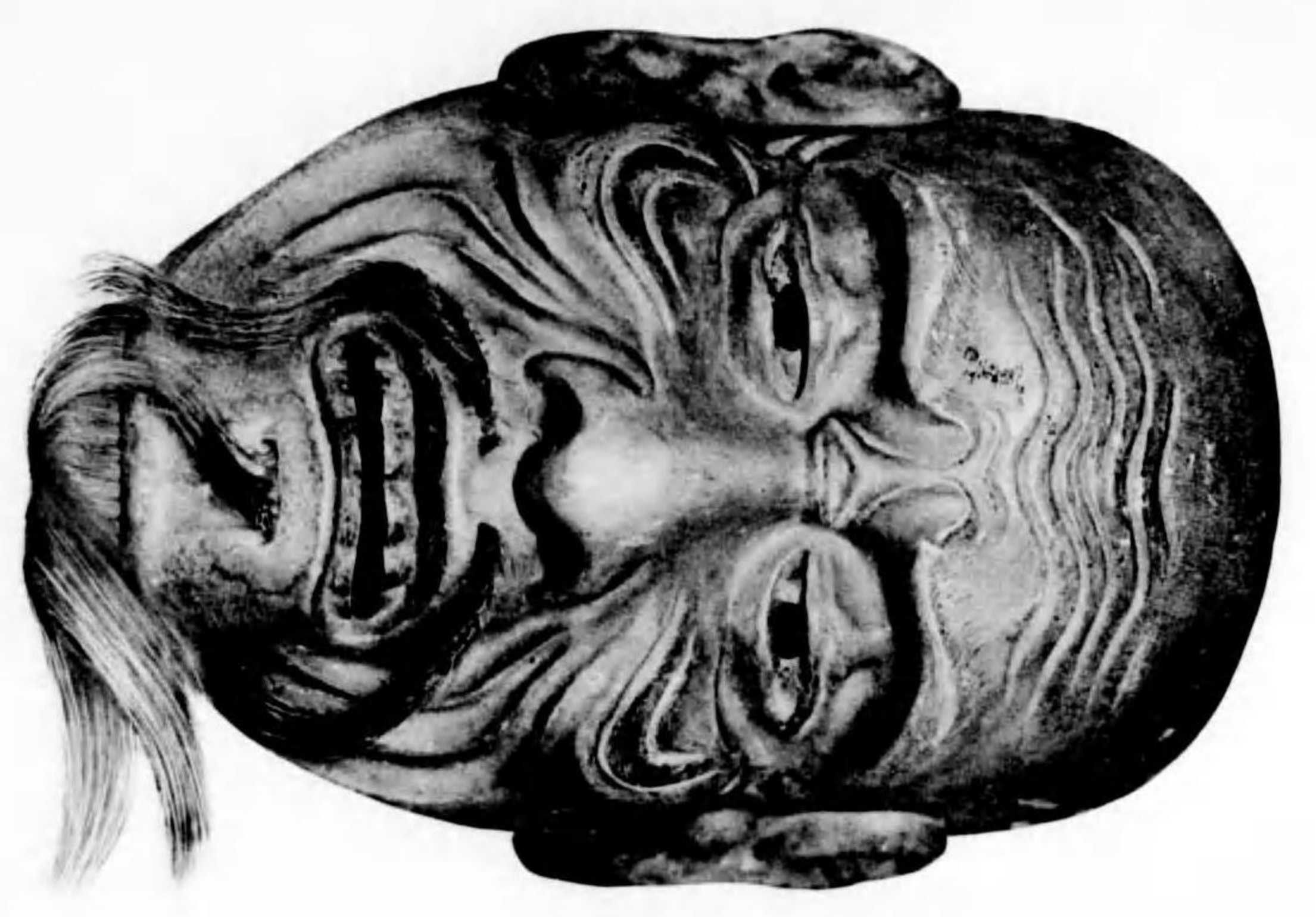
て創作せしめたるものなり、依つて此名稱あり



阿古父尉 大和作
 大西亮太郎氏藏
 阿細尉とも
【類別】 笑尉、などと同類なり。
【用途】 五流とも用ふ。
 滑稽、本唄、天鼓、遊行囃、縁唄、等の揃シテ其他。



冠尉 河内作
 大西亮太郎氏藏
【類別】 總尉の類ニテ盛尉に近し。
【用途】 流儀の所属不明なれど、老松、白樂天、梅屋等に用ひ
 て可なり。



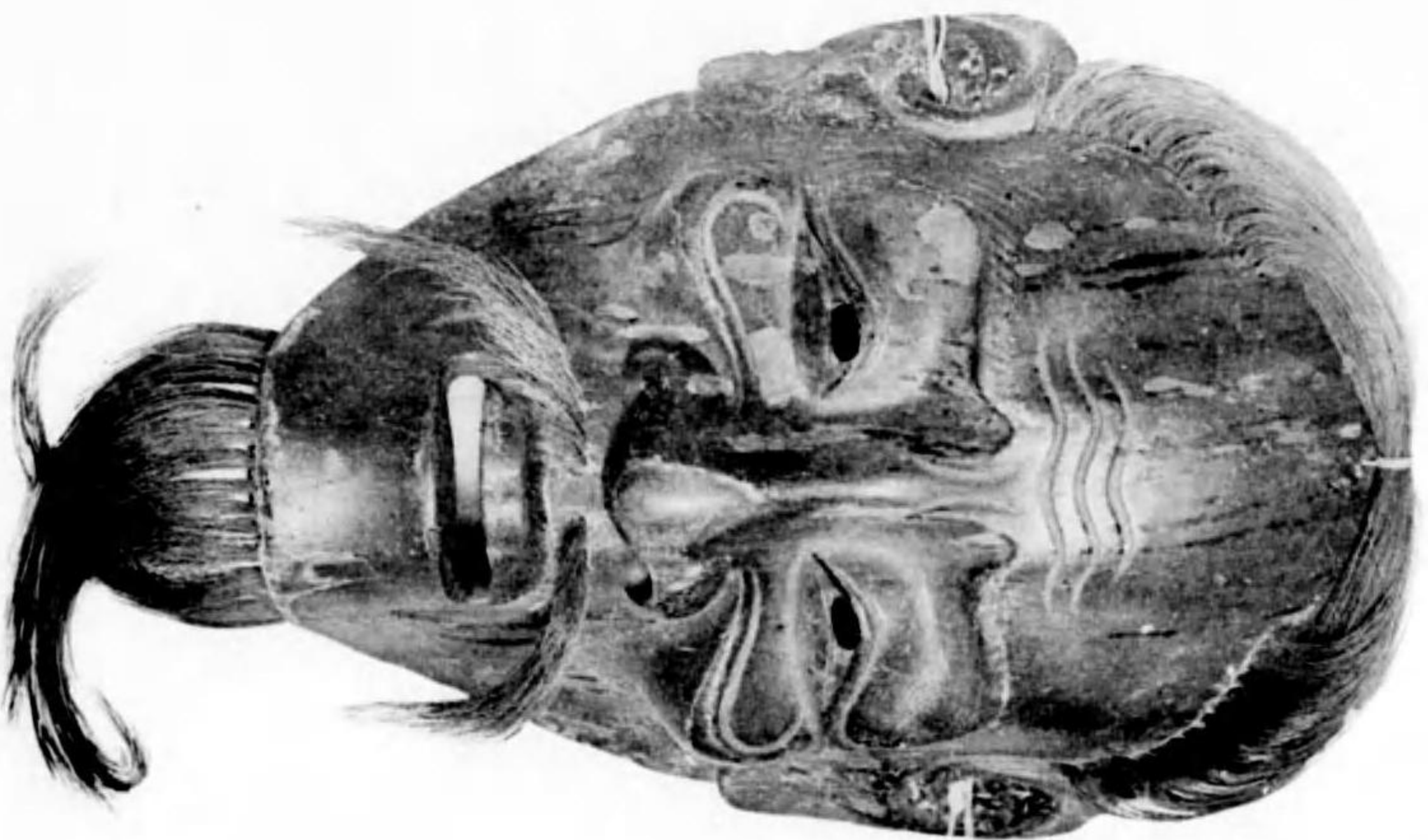
【類別】これは小尉の替へなり
【用途】小尉と用途を同じです。

千年小尉
脚本 池田侯爵家蔵
脚本 水作



【用途】金春流に於て之を用ひしのみ他流は用ひず。用途は阿古父に同じ
【類別】阿古父の替へ面に古來其作なし。

樺阿古父
脚本 前田侯爵家蔵
脚本 水作



【類別】小髭の一種なり。
 【用途】金春流のみ。の型ものにて他流は用ひず。
 小髭の替なれども、阿古文の替に用ひてもよし。

髯ヒゲ 小髭コヒゲ
 編者 大橋新太郎氏 藏



【類別】石王扇の系統なり。
 【用途】寶生流の特有面にて、他流に此型なし。
 昭君、天女、等の唐帽子ものに用ふ。

髯ヒゲ 靈レイ 扇セン
 編者 寶生重英氏 藏



【類別】小尉の類
 【用途】金剛流の特有面なり。
 高砂真の型、小塚治(白頭)等の前シラに用ふ。

無髮尉

小生作
 金剛右京氏藏



【類別】石玉尉、舞尉などと同種なり。
 【用途】觀世、金春、實生の三流は用心、金剛、喜多兩流は用
 びず。
 老松、白樂天、輪藏、並行柳、西行櫻、放生川、等に用ふ。

皺尉

編來作
 梅若万三郎氏藏



【類別】髯眉の髯なり
 【用途】觀世、金春の特有なり、他流は用ひず。
 三笑、白樂天、繪藏、遊行柳、西行權等の髯シテに用ふ。

腰卷尉
日本水作 觀世元滋氏藏



【類別】髯眉の種類
 【用途】觀世流は用ひず、他の四流は用ふ。
 繪藏、老松、西行權、白樂天、雨月、花軍等の髯シテに用ふ。
 【特例】金剛流にては髯に用ひてもよし。

石王尉
元林作 大橋新太郎氏藏
 一名石王兵衛



舞小尉

寶生重英氏藏
無來作

【類別】小尉の類にて鐵尉の趣を加味せるものなり
【用途】寶生流獨特のもの

雨月、遊行柳の後シテ及び西行櫻等に用ふ



舞尉

寶生重英氏藏

【類別】鐵尉の類
【用途】寶生、金春の特有なり

雨月、遊行柳、老松、放生川、輪藏等の後シテ及び西行櫻等に用ふ



住吉男

龍右衛門作
大西亮太郎氏藏

【類別】 邯鄲男の類

【用途】 金春流の特稱面

用途は邯鄲男に同じ



邯鄲男

徳若作
三井得右衛門氏藏

【類別】 男面なり、用途より云へば神佛の類の中に入る、も可

なれど、面の型より観れば男面に入るべきものなり

【用途】 五流ともに用ふ

邯鄲又は高砂、彦者、弓八幡、志賀等の様々及び御座の能、

嵐山の木守等、其他



【類別】中將の類にして吾男に近し。
【用途】金剛遊獨特の面なり。
女郎花、歌古、等のシテに用ふ。

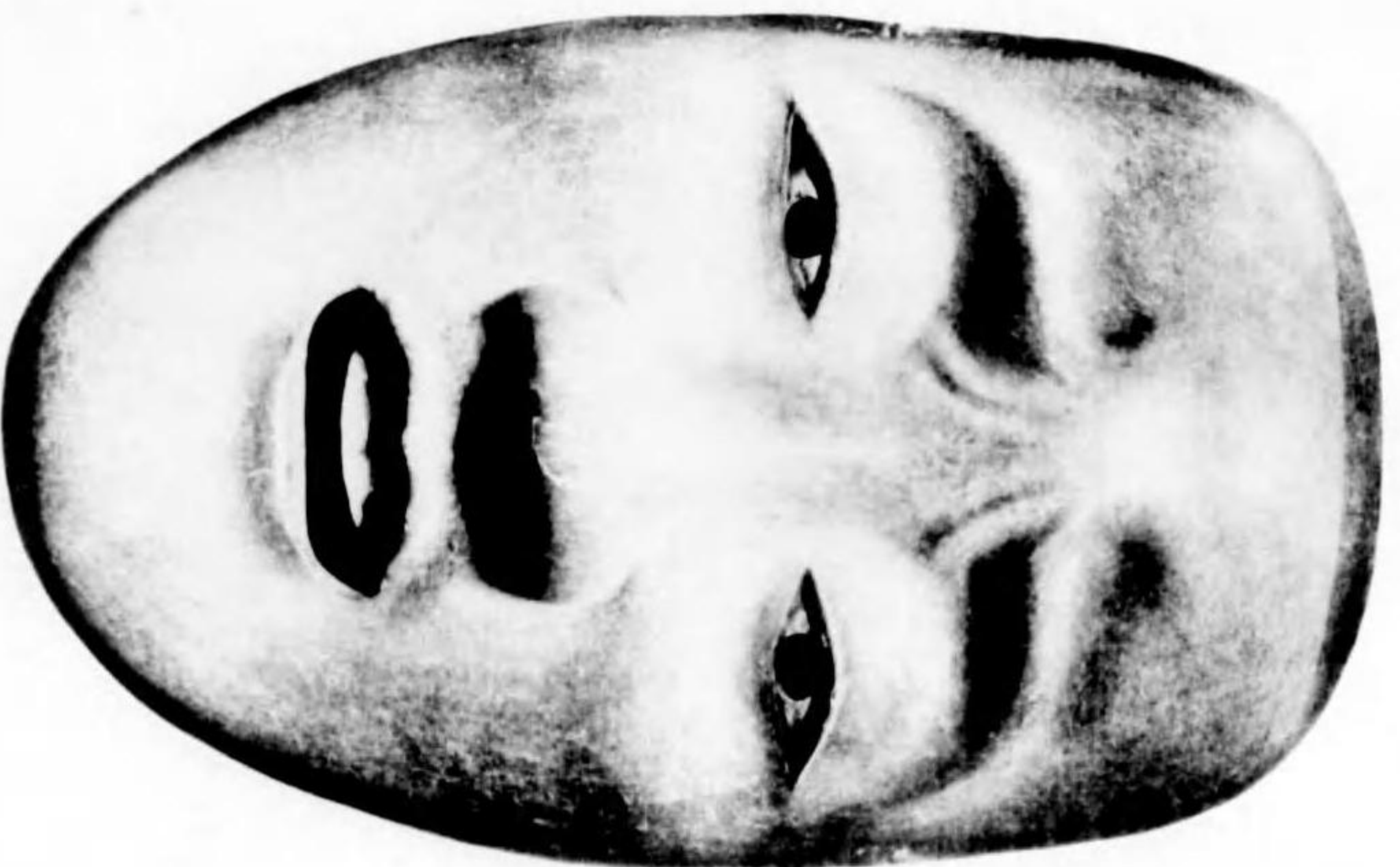
鼻曲中將

金剛右京氏藏



【類別】男類
【用途】五流ともに用ふ。
清經、經政、俊成忠則、及び忠茂、朝長、融、雲林院、通盛、
兼上、女郎花、小唄、等の後シテに用ふ。

中將



若男

友岡作
前田侯爵家藏

【類別】中將の類

【用途】觀世、寶生、金春、喜多の四流は用ふれど、金剛流は

用ゐず。

女郎花朝長、等の様シテ及公歌古シテ、嵐山の木守等。

今若

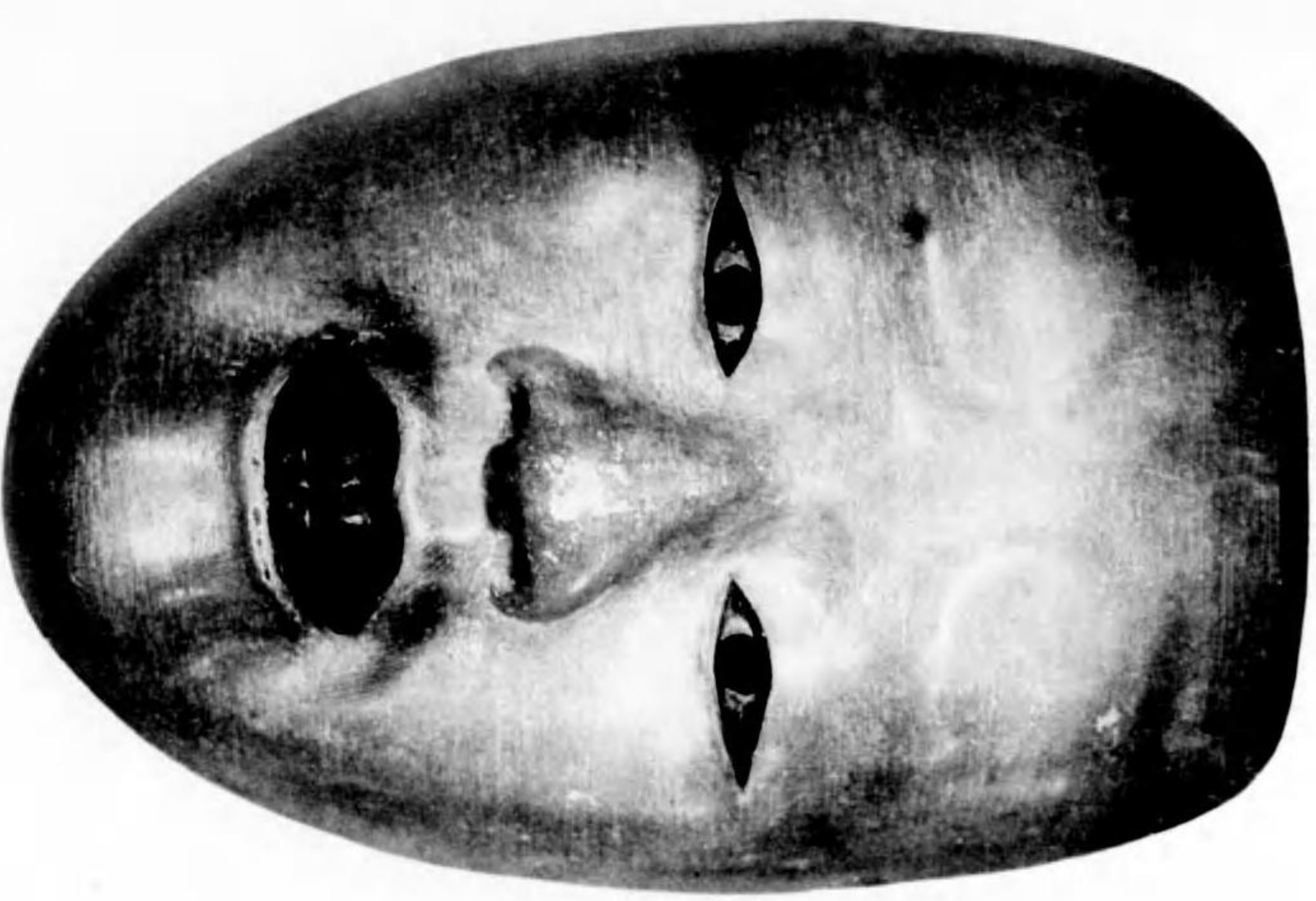
梅若万三郎氏藏

【類別】中將の類

【用途】金剛、喜多の兩流は用ゐず、他の三流のみを用ふ。

清經、經政、俊成忠則、及び女郎花、小薩、雲林院、終上、通

盛、等の様シテを用ふ。又意に用ゐてもよし。



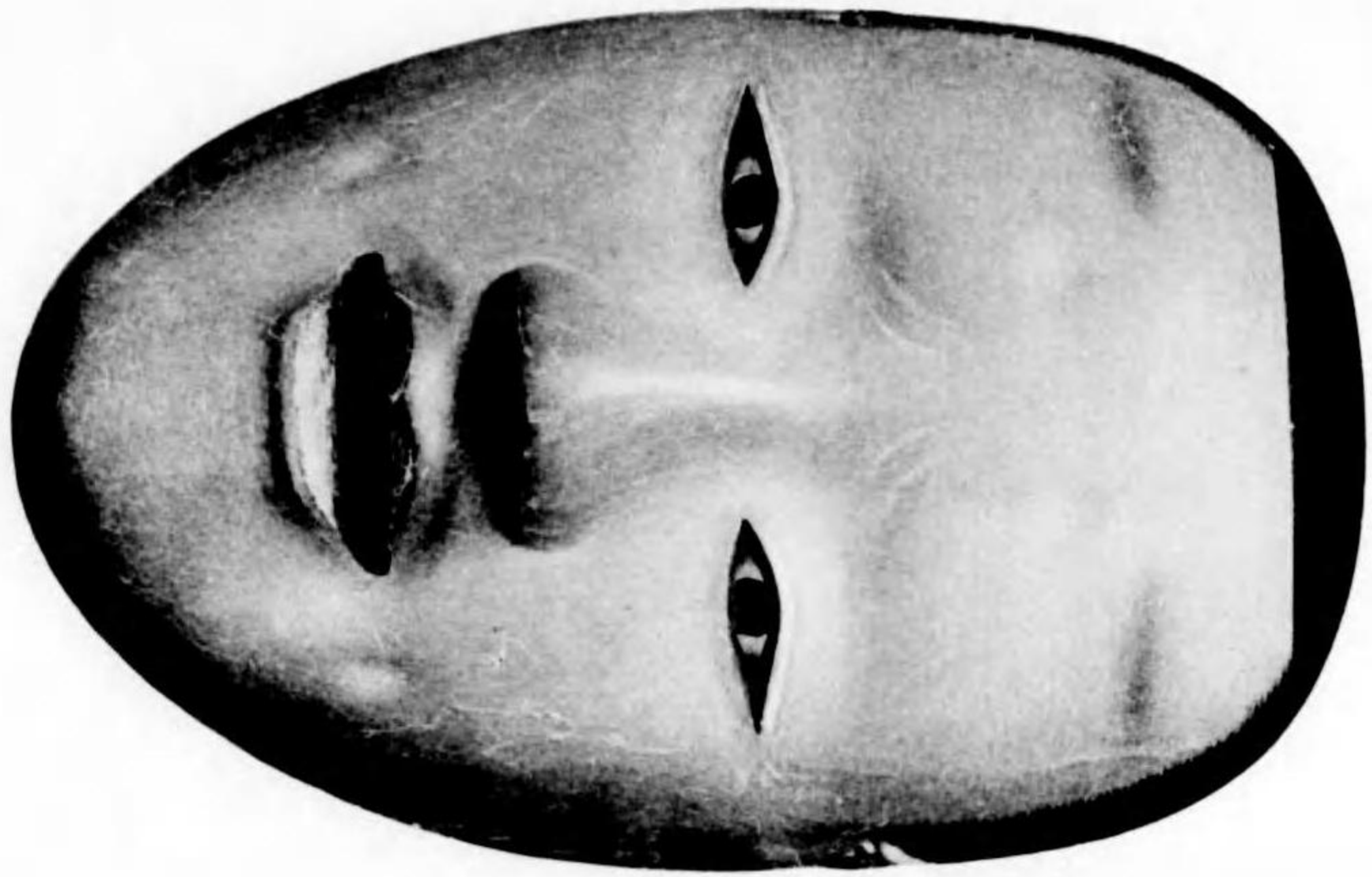
業平

湖水作
橋岡久太郎氏藏

【類別】中將の類。

【用途】所属流儀不明。

小鏡、雲林院、女郎花、等の後シテ。



源氏

友水作
井伊伯爵家藏

【類別】十六の類。

【用途】枚数に同じ、流儀所属不明。

經政清紙、俊成忠則等。

【傳説】徳川幕府に源氏の本面を藏せしが、現今に傳はるものは寄し面のみなり。

十六
編者 三井得右衛門氏藏

【類別】中將の系統

【用途】親世祖の外の四流は皆之を用ふ。

御長、牧邊の後及び生田牧邊、經政、清經、等に用ふ。

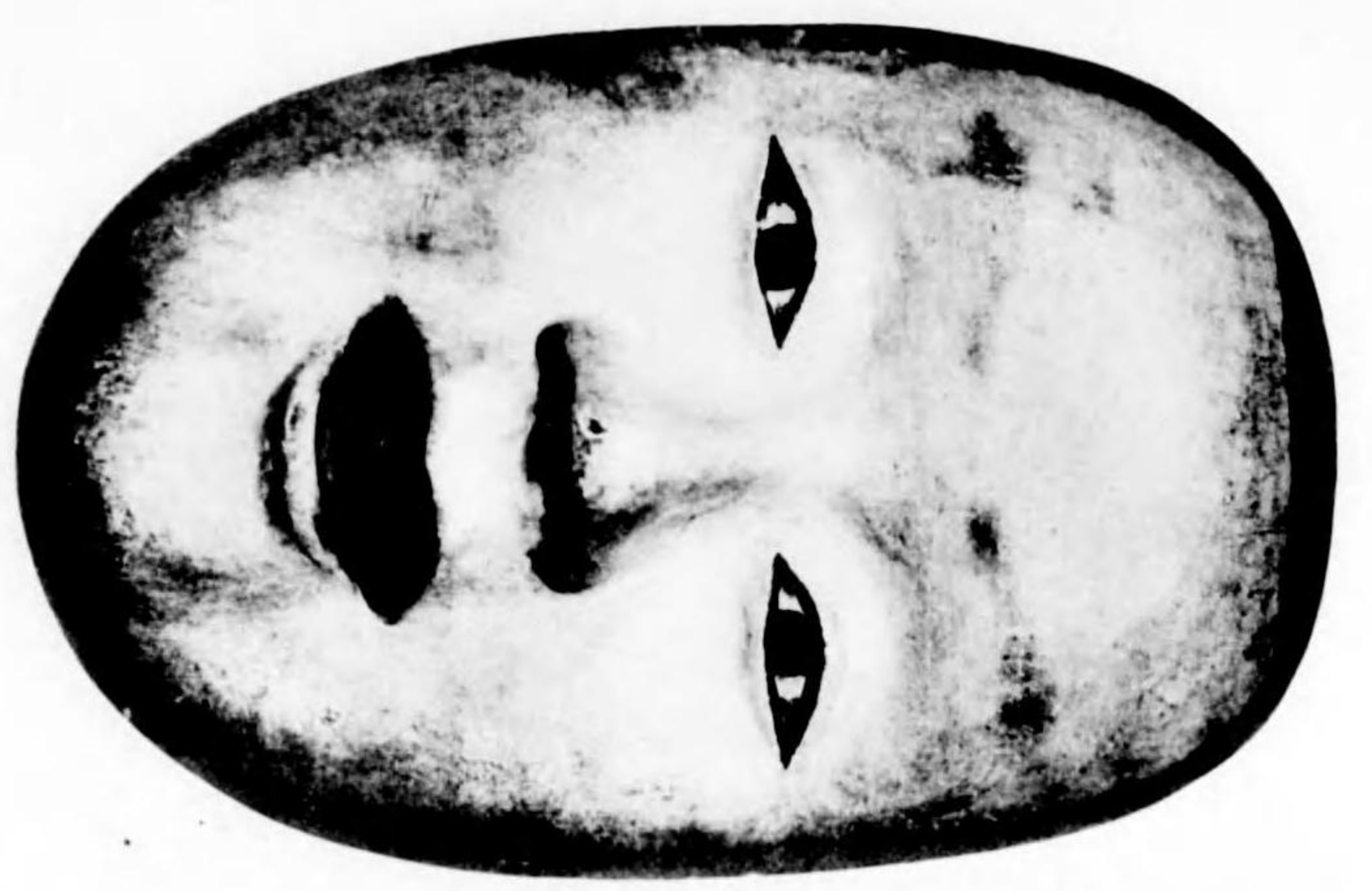
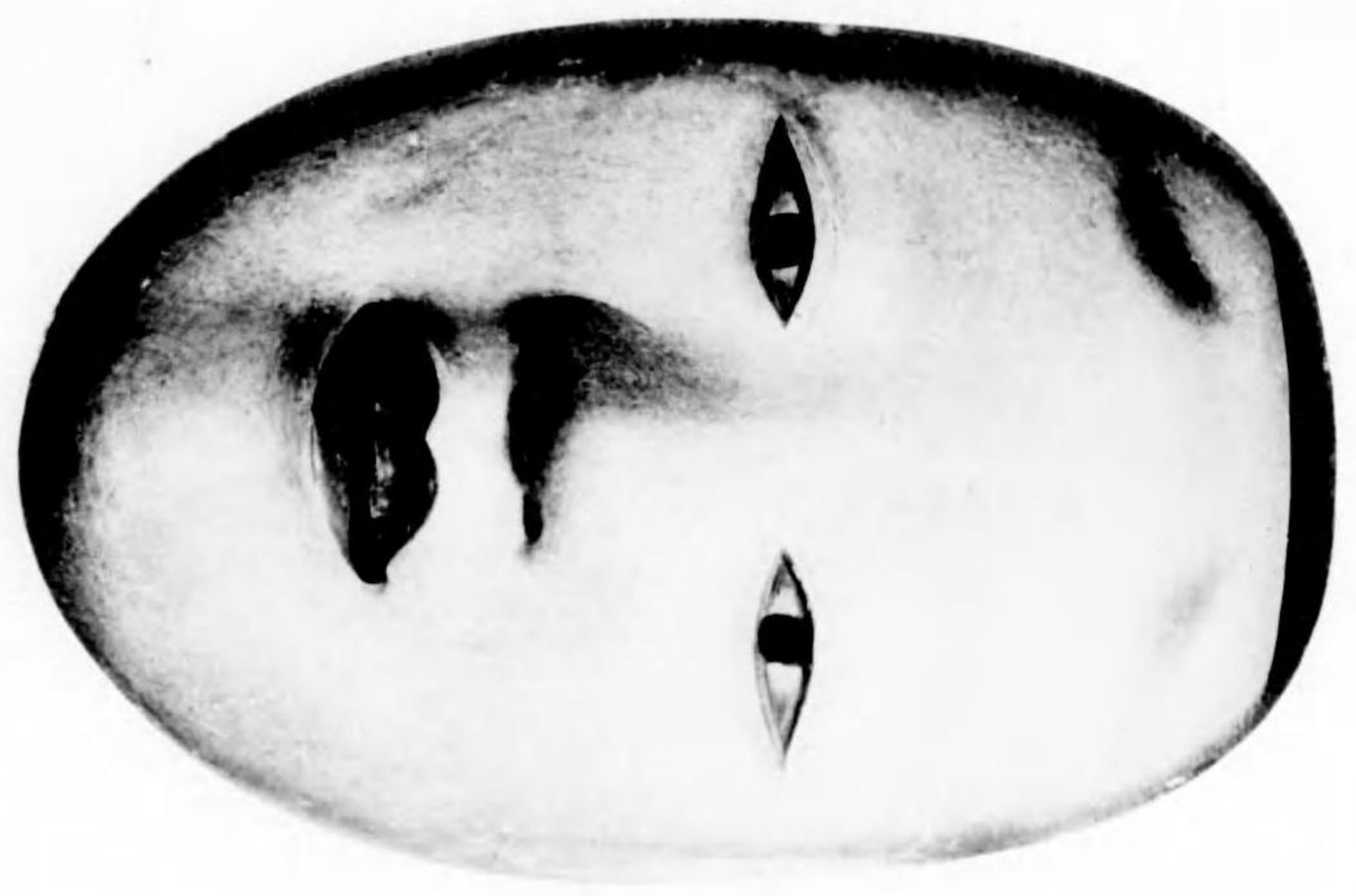
十六
並右衛門作 寶生重英氏藏

【類別】前同屬

【用途】前同屬

【持例】寶生流にては牧邊等、及び田村、小笠治の前シテ、天

敵の後に用ふる事もあり。



【類別】童子コウジの一種、但し程變り。
 【用途】下掛り三流は之を大江山に用ふ。
大童子
河内 水作
 帝室博物館藏



【類別】十六の類
 【用途】觀世流の特有。
 經政、生田教盛、知章、清經、及び教盛の後シテに用ふ古曲
 五條忠俊にも用ひたり。
敦盛
河内 内作
 觀世元滋氏藏



【用途】五洗費通
 【類別】時食の類
 東岸居士、自然居士、に用ふ

大 喝 食

神 白 作
 大西亮太郎氏藏



【用途】五洗ともに用入。
 主として花月、自然居士、東岸居士、等に用ふれど、牧養、經教、生田牧養、禪法師等に用ひてもよし。

喝 食

夜 及 作
 金剛右京氏藏



【用途】五派共通
【類別】吸食の一種
小 喝 食
德 者 作
大西亮太郎氏藏



【用途】金春流特有
【類別】吸食の一種
中 喝 食
孫 十 郎 作
大西亮太郎氏藏



銀杏型喝食

河内作
三井集會所藏

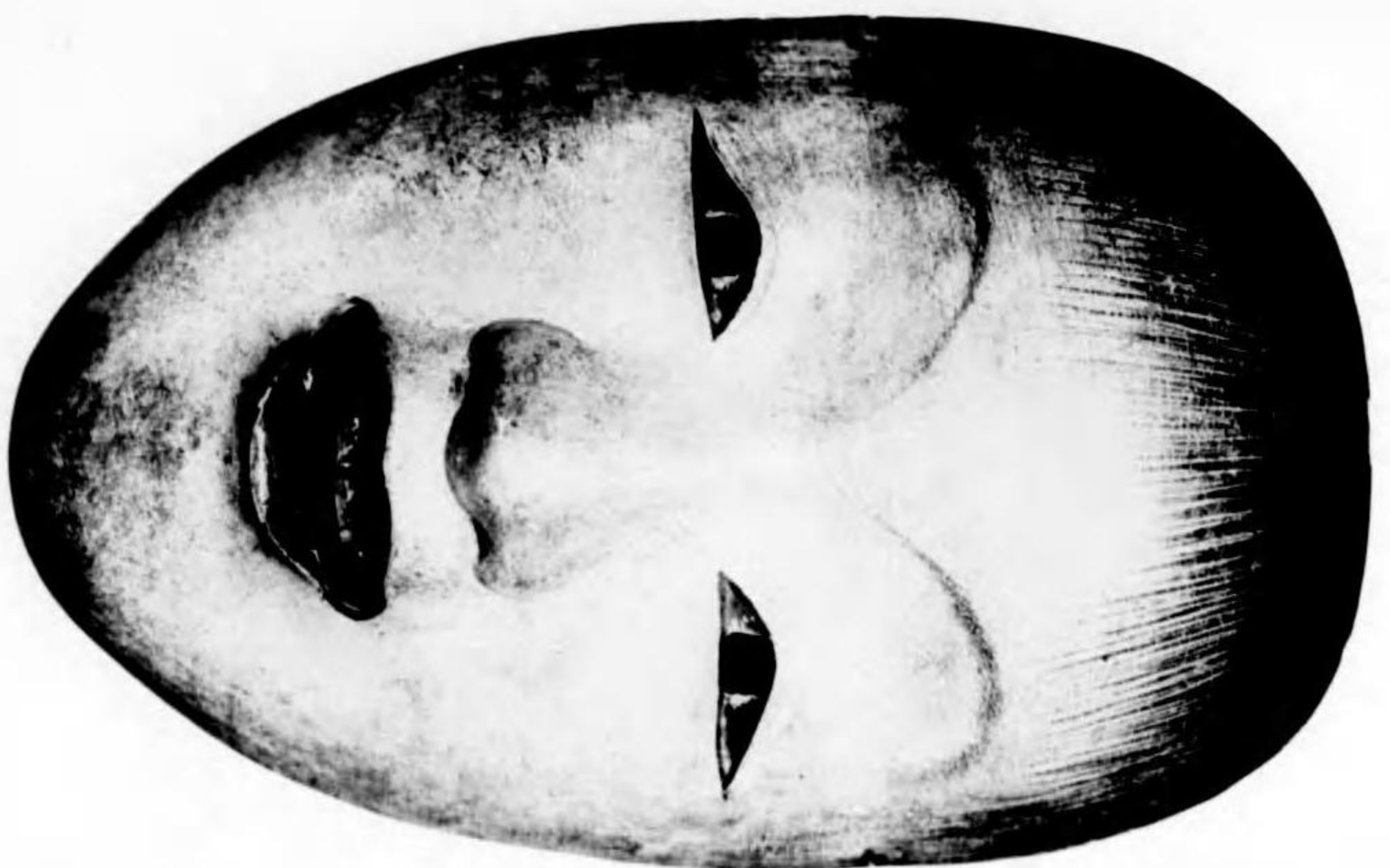
【類別】喝食の一種
【用途】小喝食に同じ

童子

御水作
大西亮太郎氏藏

【類別】男類
【用途】五流ともに用ふ

田村、岩舟、大江山、雷電、小笠原、大瀬原等の前ツラ、天鼓
の後ツラ其他に用ふ。



酒吞童子

並右衛門作
著者所藏

【類別】童子の種。

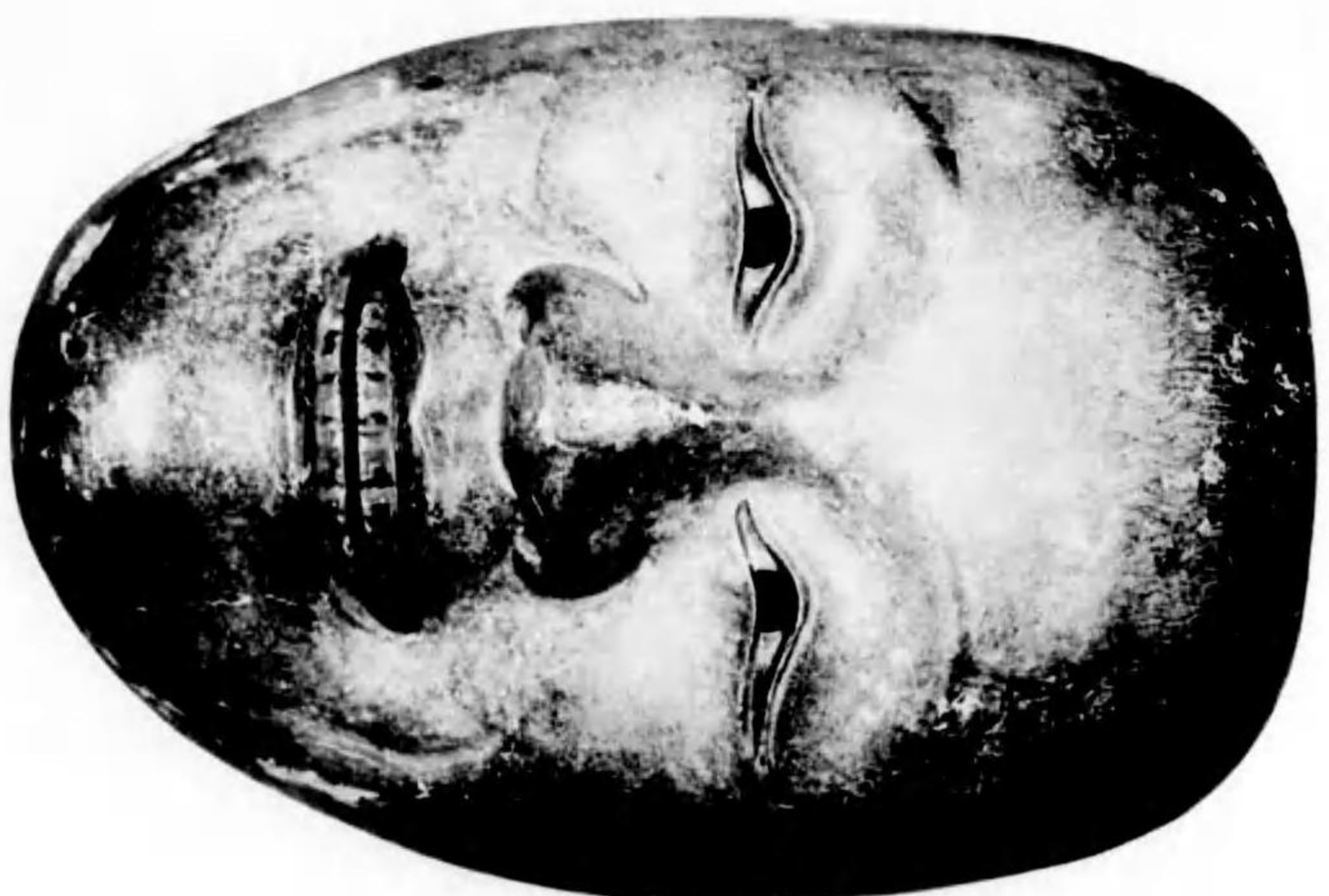
【用途】金春流特有の面たるが、現今に傳はるもの稀れなり。
大江山に用。

大童子

洞水作
池田侯爵家藏

【類別】童子の一種。

【用途】金春、金剛、喜多の三流之用。
大江山



【用途】金春流特有、岩舟、教藏、知章。
 【類別】童子的一种にて十六を加味せり。
 一名二六童子
 友岡作 池田侯爵家藏



【用途】金春流特有、主として能に用ふれど、岩舟、教藏、等に用ひてもよし。
 【類別】童子的一种
 是岡作 池田侯爵家藏



舌出慈童

市岡作
池田侯爵家藏

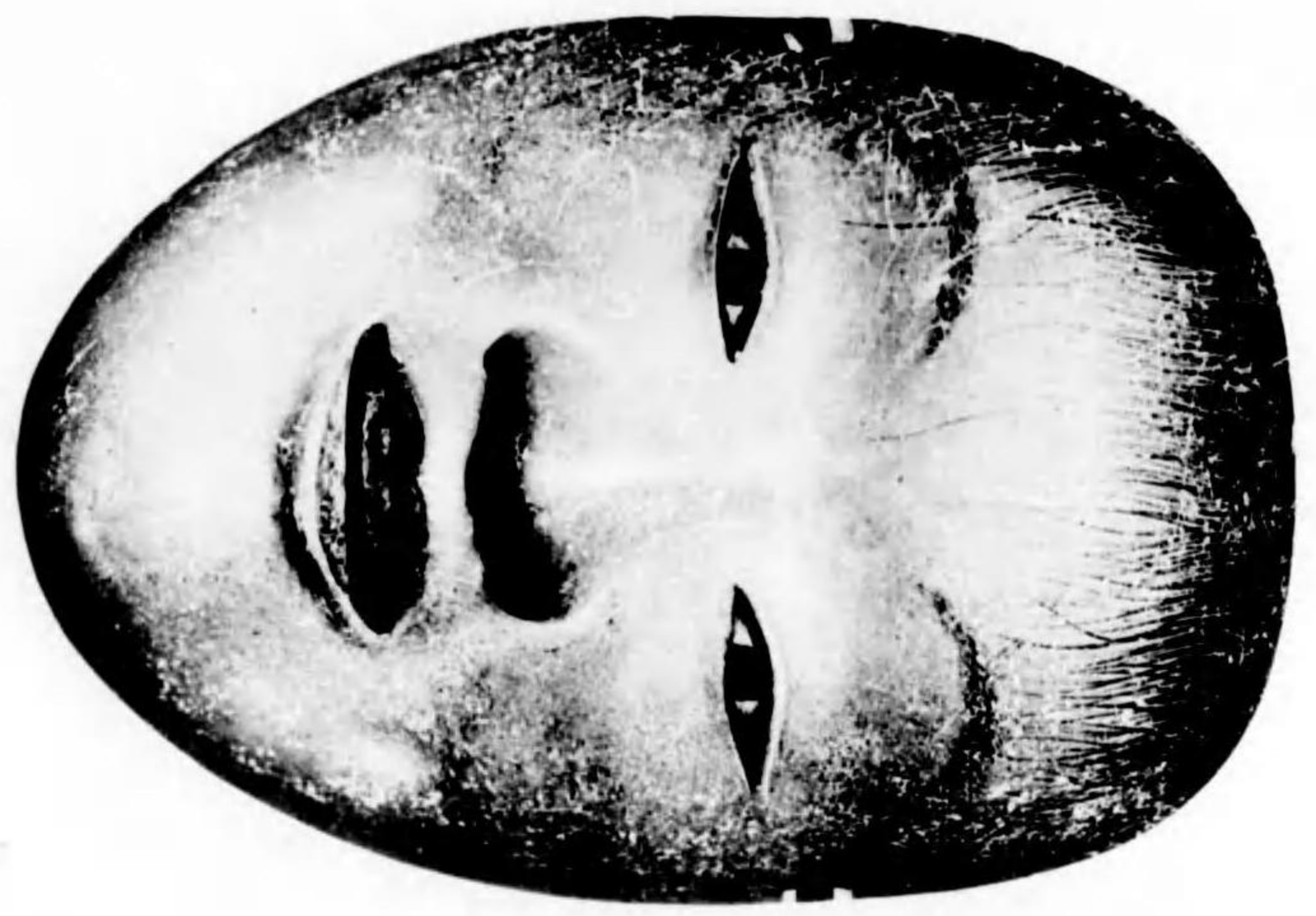
【類別】慈童の一種
【用途】慈童に同じ



慈童

大和作
橋岡久太郎氏藏

【類別】童子の類
【用途】金剛、喜多二童は用ひず
田村、大風程々、合曲、大江山、等の劇シテ、天鼓の後、林彦
或、智慈童等に用ふ



【用途】五流とも蟬丸^ツに専用。

【類別】童子の類

蟬丸

蒲照作
金剛蓮之助氏藏



【用途】五流とも鬃法師専用、古は蟬丸^ツにも用ひ事あり。

【類別】童子の類

鬃法師

龍右衛門作
觀世元滋氏作



延命冠者
古名 笑冠者 又は 咲冠者
 文藏作 金剛謙之助氏藏

【類別】男類。

【用途】五流共に用ゐる。

【新文】男延命冠者の式の千歳に用ゐる。又喜のシテに用ゐる事

もあり。

平太
實來作 梅若六郎氏藏

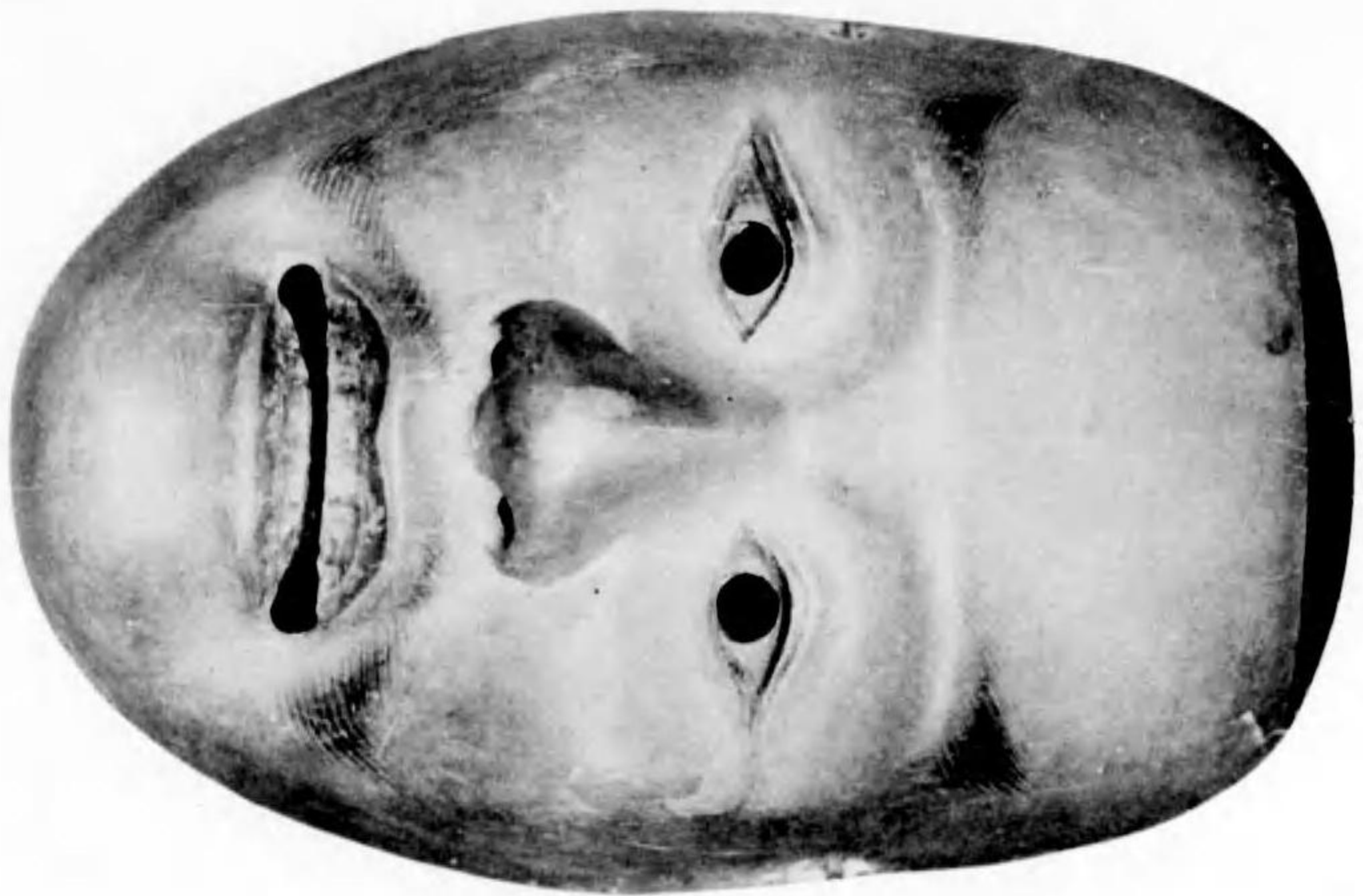
【類別】男類。

【用途】五流共通

八島、鹿、田村、兼平、等の様々に用ゐる。

【傳説】平太には彩色刀法に特長を有するもの多し。昔は卯の花平太、時雨平太、初花平太など十二種に分たれしが多く今日に

傳はらず。大貝の卯の花はその十二平太の一なり。





卯の花平太 財運作
大西亮太郎氏蔵

【類別】平太の一種。
【用途】昔の十二平太の一にして、八島弓流しに用ふ。
【特長】普通の平太より彩色白し。

阿波男 文藏作
観世元滋氏蔵

【類別】男種。寛生流の淡男は阿波男の類なれば此面と類を異にす。
【用途】三日月の替として用ふ。

隼男 洞白作
池田侯爵家蔵

【類別】平太の類。
【用途】昔は観世流にて用ひたり。高砂、養老、等の後シテ。

太閤 金剛譚之助氏作
金剛譚之助氏蔵

【類別】男類。
【用途】金剛譚之助氏の創作也。先年阿彌陀峯に豊公祭の行はれし時豊公作、柴田を演じて此面を用ひたり。

舌出猩々
 猩々の一種
【類別】 猩々の一種
【用途】 寶生流特有の面
 猩々鏡に用入。

寶生重英氏藏



猩々
 猩々
【類別】 男類
【用途】 五流共用
 猩々、大瓶鏡々に限り用入。

金剛護之助氏藏



【類別】男類
【用途】五流ともに用ふ。
續政、常用なり。

蛸政

近江藩昌作
金剛謙之助氏藏



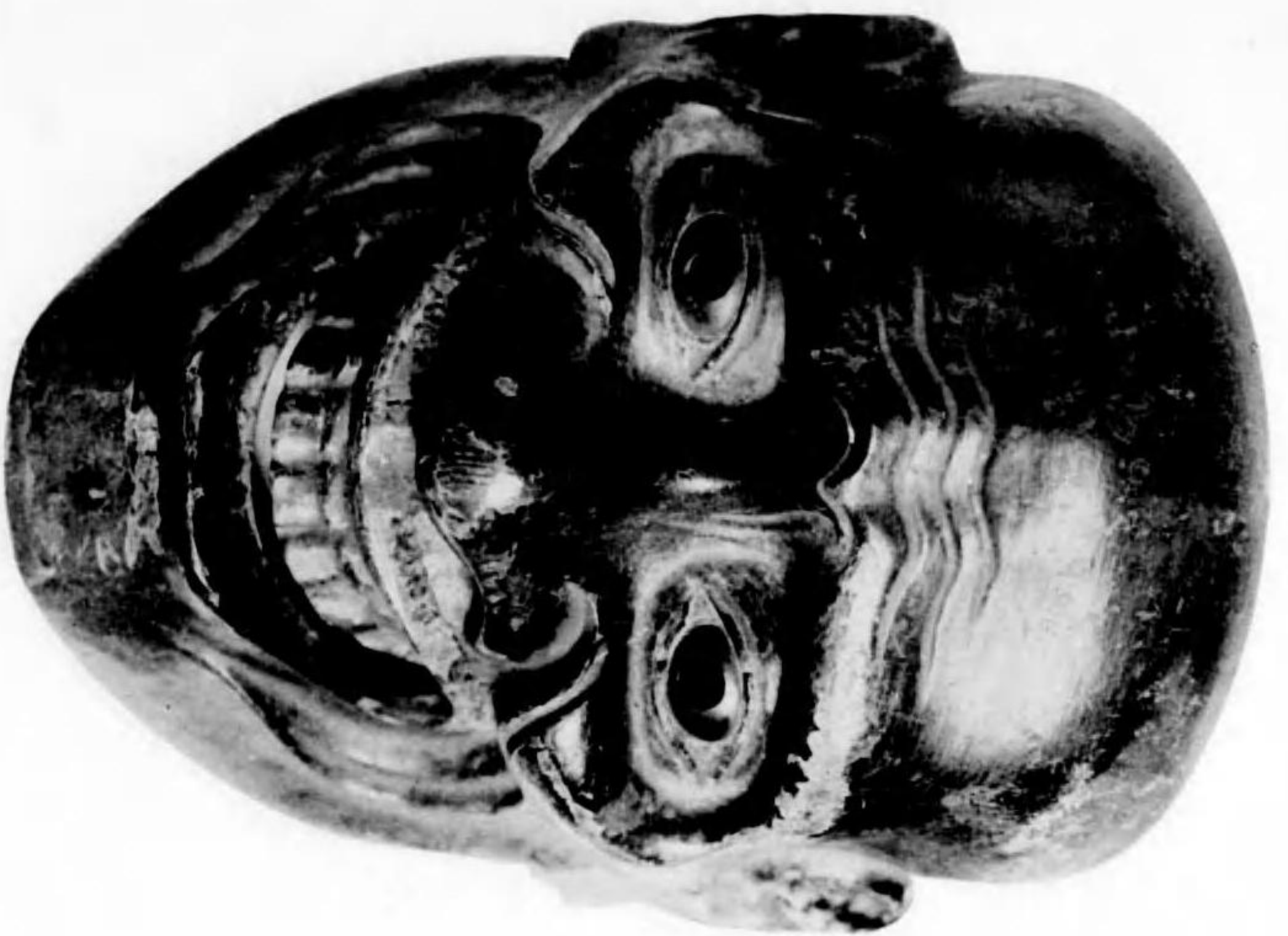
【類別】猥々の一類
【用途】猥々に同じ。

薩摩型猩猩々

元正作
大西亮太郎氏藏



【類別】 現今に傳はる賴政の原形なり
 【用途】 賴政にのみ用ふ。
入道
 赤鶴作 大西亮太郎氏藏



【類別】 賴政の一種
 【用途】 賴政に同じ
源三位
 近江作 大橋新太郎氏藏





俊

寛

【類別】男類

【用途】各流とも俊寛専用。

一、観世流の型

日本作 観世元滋氏藏

三、金剛流の型

金剛右近作 金剛謹之助氏藏

二、寶生流の型

日本作 寶生重英氏藏

四、喜多流の型

作者不詳 梅若万三郎氏藏



景

清

【類別】 盲目の類。

【用途】 各流とも景清専用。

一、観世流の型

徳若作 観世元滋氏蔵

三、金剛流の型

金剛景頼作 金剛右京氏蔵

二、寶生流の型

寶來作 寶生重英氏蔵

四、喜多流の型

洞水作 喜多六平太氏蔵



牙癩見

作者不詳
金剛右京氏藏

【類別】 癩見類

【用途】 金剛流獨特にて、未だ他に模倣さへなし。

鞍馬天狗の白頭などに用ふ。

【傳説】 此面は昔上杉謙信が陣中に於て常に用ゐたるものなるが金剛家の祖之を謙信より拜領して能に用ゐたるものなり。面は大癩見よりも一層大きく、他に類のなき珍品なり。

犬癡見

赤船作
梅若六郎氏藏

【類別】 猿見類

【用途】 五流にも用ゐる。

善界、鞍馬天狗、車道、大曾、松山天狗マヒ、葛城天狗等の後



魔王

近江作
大西亮太郎氏藏

【類別】 猿見類

【用途】 主として第六天に用ゐられ、他の天物物に用ゐてもよ



【用途】常の犬と見同し。
 【類別】べし見類。犬類には種々型の變りたるもの多けれど、此の如く著しく變はれるものを見る事なし。珍とすべし。
狸變大癩見
 赤嶋作 三井得右衛門氏藏



【用途】觀世寶生、金春三流にて用ふ。他、其他。
 【類別】べし見の一種。
猿癩見
 赤嶋作 寶生重英氏藏





白癡見

三光坊作
大西亮太郎氏藏

【類別】 癡見類に大癡見の白きものなり。
【用途】 實生流特有のもの。鞍馬天狗等に用ふ。

中癡見

赤鷲作
大西亮太郎氏藏

【類別】 癡見類。
【用途】 金春流の面
熊坂、降魔等の後シテ

小型白癡見

文藏作
皇室博物館藏

【類別】 白くし見の一種にて形小なり。
【用途】 群迎の下に用ひてよし。

小癡見

久次作
細川侯爵家藏

【類別】 べし見の類。
【用途】 五流ともに用ふ。
水室、壇風、松山鏡、鶴洞、皇帝、昭君、鍾馗、
野守、谷行等の後シテ



熊坂

文藏作
觀世鐵之丞氏藏

【類別】瘡見類

【用途】觀世、實生、金春、三流にて用ふ。
熊坂、烏帽子折

六十三

河内作
大西亮太郎氏藏

【類別】瘡見の類

【用途】何流の面とも分らず。
烏帽子折、橋辨慶等に用ふべし。

長癩見

洞水作
金剛右京氏藏

【類別】瘡見類

【用途】五流ともに用ふ。
熊坂、烏帽子折、谷行、橋辨慶、第六天等

黒癩見

元体滿真作
觀世鐵之丞氏藏

【類別】瘡見類

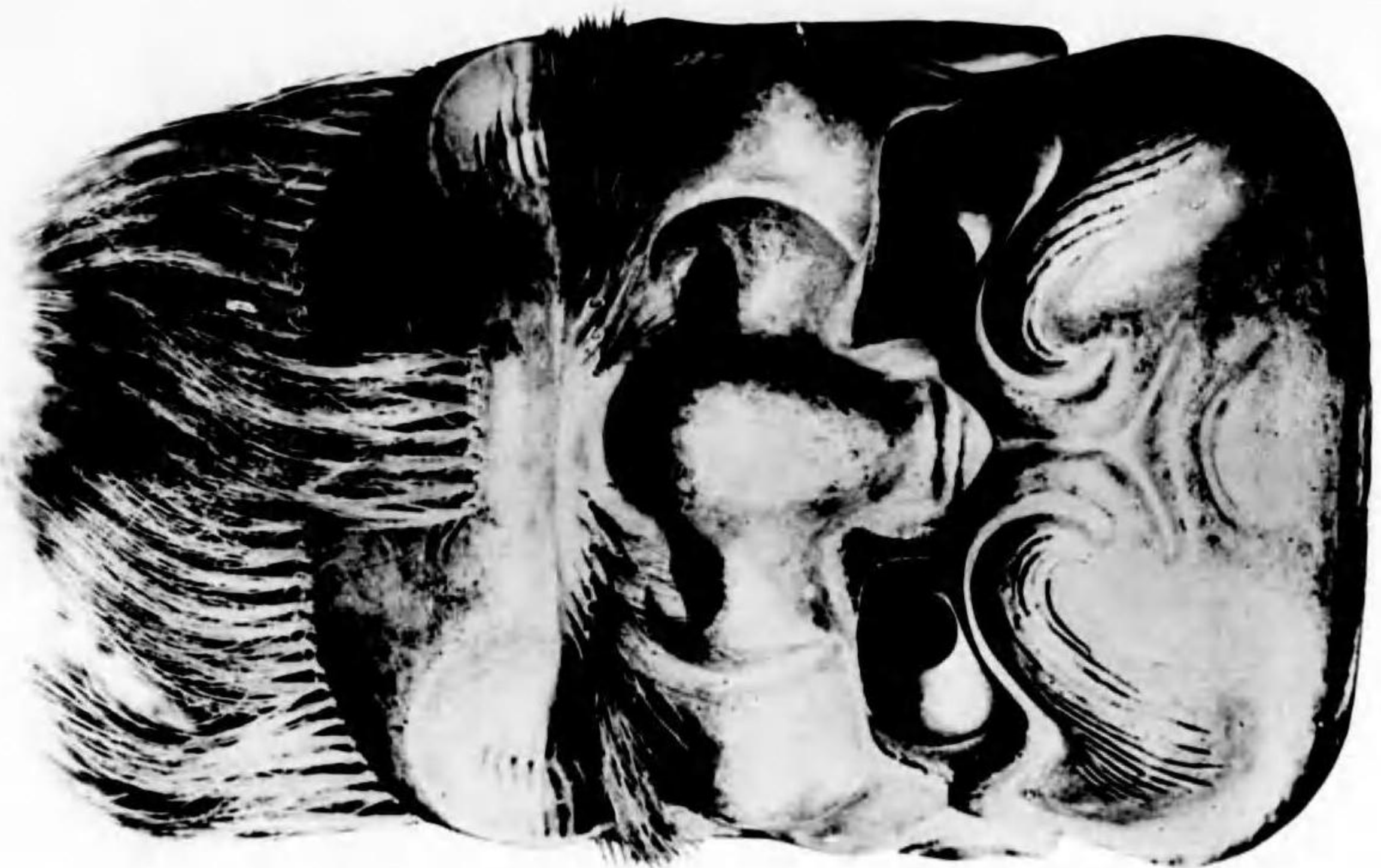
【用途】觀世、金春二流に限り用ふ。
熊坂、烏帽子折、野守、第六天、橋辨慶

【用途】水産自頭等にも用ふし。
近し。

【類別】寄生家の掃癩見は悪尉に近けれども、これは大癩見に

掃癩見 ハルカシ

梅若方三郎氏藏



【用途】實生流の特有なり。
鞍馬天狗の白頭などに用ふ。

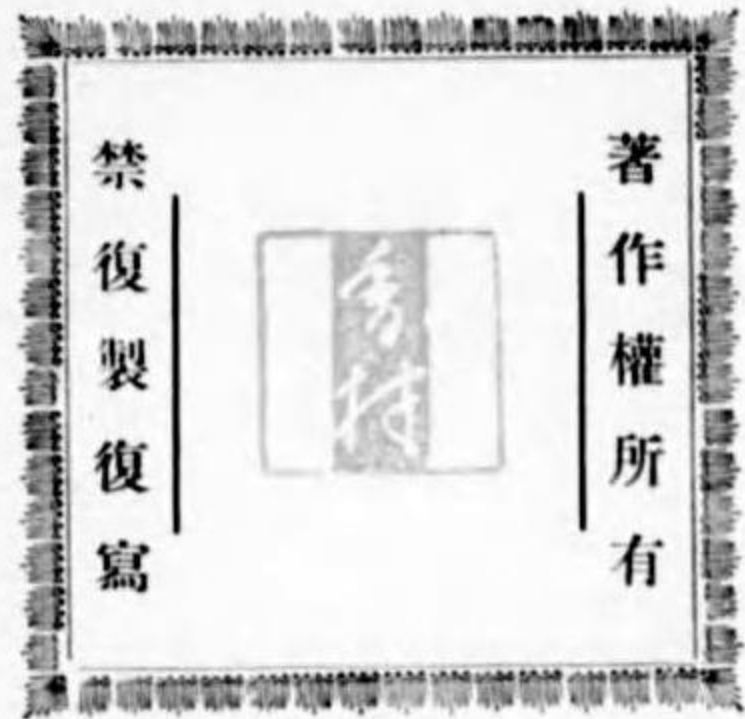
【類別】掃癩類なるが悪尉に近し

掃癩見 ハルカシ

寶生重英氏藏



大正九年十一月二日印刷
大正九年十一月七日發行



能面大鑑上卷
定價金拾九圓

著者 齋藤芳之助
東京市麴町區飯田町三丁目九番地

發行者 株式會社 能樂書院
東京市麴町區飯田町三丁目九番地
代表社員 齋藤芳之助

印刷者 倉谷鎮夫
東京市芝區愛宕町三丁目二番地

印刷所 東洋印刷株式會社
東京市芝區愛宕町三丁目二番地

東京市麴町區飯田町三丁目九番地

發行所

株式會社 能樂書院

電話九段二〇九八番
振替東京四三八九番

470
56

終

